

# キャンヘルプタイランド

## ネットワーク通信

2009年1月26日発行 第44号

バンコク便り

タイ・バンコク在住の西川会長から

皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいいたします。年末年始を挟むこの時期、タイは一年でもっとも過ごしやすい時期を迎えます。雨季が明けてうっとうしい雨も降らず、それに伴って不快感を増す湿度も適度に下がり、気温も外を歩いても汗がにじみ出ないぐらいにまで下がります。「涼しい」という言葉が唯一使えるのが今の時期なのです。

しかし、今年は少し様子が変です。いつもの年に比べてずいぶん「寒い」のです。報道によると、今月初旬に寒波が押し寄せた際には、バンコクなど中部で最低気温が13-16度、北部や東北部では2-7度にまで気温が下がり、一昨年ワークキャンプを行ったカラシン県では最低気温4度を記録したそうです。高齢者を中心に死者まで出ています。

このニュースを聞いて、十数年前に今年と同じように寒波がタイを襲ったときに滞在したイサーン地方での数日間を思い出しました。「涼しさ」を期待していた私はろくな防寒着も持たず、滞在先の学校に着いてからは、一日中焚き火の日にあたっていました。子どもたちの多くは真夏と同じシャツ1枚で、上着を持っている子は少数でした。子どもだけに元気いっぱいでしたが、やはりみなぶるぶると震えていました。教室には座ってられないほど寒いので、日当たりのいいところへ移動して授業したり、授業を中止して、外を走ったり、おしくら饅頭の様なゲームをしたりして、体を温めては授業に戻るといった具合で、まともに授業できないくらいでした。いくら寒くても部屋の中に入れば、暖が取れる日本とは違い、こちらでの寒さは逃げ場がありません。壁は薄く、隙間だらけで、暖房設備もまったくありません。熱いシャワーもないので、冷水を浴び、暖かい羽毛布団もないので、薄い毛布を何枚も借りて、震えながら寝たものです。タイは暑い国というのが一般的な認識ですが、いったん寒くなれば、日本人でも耐えられないほどの寒さが身にしみるのです。

あれから、十数年、今年も同じような光景が北部やイサーン地方で見られるのでしよう。少なくとも子ども達が何か羽織れる物を持てるようになっていけば、と願わずにいられません。

日本と同様、タイも景気の悪化が言われ、レイオフや自宅待機などの雇用調整が進められています。一日も早く「暖かい」日が来てほしいものです。(このニュースレターが届くころには、少なくとも気温に関しては「暑い」毎日に戻っているものと思います。が…)

西川弘達@バンコク

特集記事

～バンクローンタンマチャート学校からの報告～

2008年12月22日、タイ東北部ロイエット県在住の亀山さんが、2008年8月の校舎建設のワークキャンプを行ったサツケオ県のバンクローンタンマチャート学校へ再訪してくださいました。完成間近の校舎の写真と学校からの手紙を事務所まで郵送してくださいましたのでご報告いたします。

今回建設作業を行った新しい校舎は今年の1月12日に完成式が執り行われ、現在は幼稚園舎として使われています。ワークキャンプ中には、壁塗や外周フェンスの基礎工事を行いました。まだまだ完成には程遠い状態でしたので、完成した校舎の写真を見るととても感動的です。



白いペンキで塗られ、フェンスも完成しました。



植樹もされ、とても立派な校舎になりました。

校長先生からのお手紙

โรงเรียนบ้านคลองธรรมชาติ หมู่ 4  
ตำบลหนองบัว อำเภอพนาจารย์  
จังหวัดสระแก้ว 27000

22 ธันวาคม 2551

เรียน ผู้จัดการมูลนิธิชุมชนไทย

เนื่องด้วย โรงเรียนบ้านคลองธรรมชาติ ได้รับการอนุเคราะห์จากมูลนิธิชุมชนไทย สนับสนุนงบประมาณการก่อสร้างอาคารเรียนเพื่อใช้จัดการเรียนการสอนชั้นอนุบาล 1 และ อนุบาล 2 ซึ่งได้ทำการก่อสร้างแล้วแต่เดือนสิงหาคม 2551 จนถึงปัจจุบัน ก็ยังจะก่อสร้างอาคาร และ จะเริ่มจัดการเรียนการสอนในอาคารเรียนและมูลนิธิชุมชนไทยตอน สวมตราฯ ส่วนนี้จึงเพื่อขอแจ้ง การจัดงบประมาณการเรียนไปให้มูลนิธิชุมชนไทยตามข้อกล่าว

ในการนี้โรงเรียนมีวัตถุประสงค์ที่จะเริ่มเปิดทำการในเดือนมกราคม 2552 จึงจัด กำหนดการพิธีเปิดอาคารเรียนเดือนสิงหาคมกับจัดงานวันเด็กแห่งชาติในวันที่ 12 มกราคม 2552 ขณะครู นังเรือน ชูชนน ครูคนรู้ใจและครูอุไรใจ ที่ได้รับความ อนุเคราะห์จากมูลนิธิชุมชนไทย ที่เข้ามาช่วยงบประมาณการก่อสร้างและคณะทำงานชาวญี่ปุ่นทุกท่าน ที่ มาร่วมพิธีกรรมก่อสร้างอาคารเรียนคือกล่าว

ขอขอบคุณมูลนิธิชุมชนไทยและคณะทำงานชาวญี่ปุ่นทุกท่านที่ช่วยไปโรงเรียนนี้ อาคารเรียนหลังใหม่ที่สวยงามเป็นประโยชน์ต่อชุมชนและทางราชการเป็นอย่างสูง

สุดท้ายขออวยพรให้มูลนิธิชุมชนไทยประสบความสำเร็จในโครงการให้มูลนิธิชุมชนไทยและ คณะทำงานชาวญี่ปุ่นทุกท่านประสบความสำเร็จ มีสุขภาพพลานามัยแข็งแรง สวรรค์สร้างโรงเรียนให้ นานานชุมชนไทยเจริญไป

ขอแสดงความนับถือ  
คณะครู นังเรือน โรงเรียนบ้านคลองธรรมชาติ



バン・クローンタンマチャート学校  
M.4 T.Nongwa、 A.Kaochagan,  
Sakaeo 27000  
2008年12月22日

C. A. N. H. E. L. P. Thailand 様、

キャンヘルプタイランド様より幼稚園 1, 2 校舎建設の支援金をいただき、2008年8月から工事を進めて きました。現在は完成に近い状態で、学生たちの学ばいい環境となる教室内の雰囲気作りや校舎周りの庭、 砂場、水場 (water garden) の準備をしているところです。

付きましては来る2009年1月に子供の日のイベントと一緒に校舎の Opening Ceremony を行う予定です。 教員、生徒、村人たちは皆様より建設支援金や日本人ボランティアのおかげに大変誇りに思って感激いたしま す。

美しく、地域や行政に役に立つ校舎を私たちの学校に提供してくださり キャンヘルプタイランドや FREE や日本人ボランティアの皆様にご感謝いたします。

最後に皆様のご多福、ご健康、人類のためにご活躍を続けることをお祈りいたします。

尊敬をこめて、  
バン・クローンタンマチャート学校  
教員、生徒一同

## 特集記事 2

## ～カサロンの家に滞在して～

報告者：浅井 美里

キャンヘルプタイランド会員の皆様お久しぶりです。カサロンの家でボランティアをしていました浅井です。私は先日約8ヶ月間過ごしたチェンマイから無事帰国しました。長いようであっという間に過ぎていったように感じます。本当にいろいろな方に助けられ、支えていただきました。無事に帰国できましたことを皆様に感謝いたします。

今日は、お別れの様子と合わせてカサロンの状況とこれからについて報告したいと思います。ブログをご覧になっている方はご存知かと思いますが、現在カサロンの家は希望の家のスタッフをしていたジェイさんとその奥さんのナノイさんが引き継いでいます。ジェイさんは電気工事から家の修理、子どもたちの勉強にお料理などいろいろなことができるスタッフです。ジェイさんが来てから壊れかけのホースや扉、以前使っていたブタの排泄物を利用したガスコンロをセットなどいろいろと改善されています。



ナノイさんは希望の家の出身なので山岳民族の子供たちの世話や大勢の子どもたちのお世話はお手のものといった様子です。

私は帰国直前に体調を崩してしまい、子どもたちの側にいられなかったのが残念でなりません。丁度その頃チェンマイでは、灯籠祭り（ロイ・カトン）が行われていました。タッサニーさんのご好意で最後の夜にカサロンの家に連れて行ってもらいました。カサロンの家では、私のために熱気球（コーム・ファイ）が用意されていました。コーム・ファイは竹と和紙のような紙で作られ、燃料には蠟燭が使われて、空に放つとゆったりと舞い上がっていききました。優しい蠟燭の光に子どもたちの顔が照らされてとても素敵なお別れでした。

「これは日本に届くのかな?」「ピーみさとは本当に明日帰っちゃうの?」「悲しいよ。涙が出ちゃう」「今度はいつ来るの?」「1年も来ないの?長すぎるよ」と子どもたちは口々に私へお別れのあいさつをしてくれました。いつも元気なガンジャーが突然泣き出したので、びっくりしました。リス族の双子の兄弟は、タイ語のお別れをあんまり上手に言えずにいました。今度会うときはもっともっとタイ語が上手になっているといいですね。タイで生きていくには上手にタイ語が話せることはとても重要です。

カサロンの家は、山岳民族の子供たちがそこから学校に通うための施設以上の意味を持っています。毎日の生活そのものがまさにかねらの育成につながっています。どんな小さな子どもでも自分のことは自分でし、更に協力して行うお手伝いが割り振られています。これが子どもたちにとってとても重要な教育になっています。

毎日の歯磨きや水浴びから、タライでする洗濯、ご飯の準備、家畜の世話、田植え、畑仕事など子どもながらにいろいろとこなします。山岳民族の中には歯磨きなどの生活衛生の観念がない部族も多く、こうした生活習慣を子どものうちから見につけることは大切です。また日本

人には馴染みはないですが、毎夜やる聖書の勉強は道徳教育となり、宗教は彼らを精神的に支える存在です。聖書を通じて人としての道を学ぶだけでなく、自分が愛されて生まれてきた存在であり、自らも人を愛して人のために生きるというメッセージが込められています。ある暗い夜ガンジャーが「ピーミサトは、一人で寝ていて怖くないの？今日は暗いから悪魔が出るよ。でも大丈夫、神様が私たちを守ってくれるよ。もし悪魔が出てもおまじないを唱えればいいんだよ。」と私におまじないを教えてくださいました。神様が彼女たちを守ってくれるそれが彼女たちの大きな支えになっているのではないのでしょうか？

さて、今後のカサロンの家についてですが、私は主に3つほど考えていかなければいけないことがあると思っています。一番大きな問題とは、やはりこれからカサロンの家が自立して運営できるかではないのでしょうか？運営についての考え方をもっと見直す時期に入っているのではないかと思います。

次に建物そのものの問題です。施設の奥にあり今は男の子の家になっている建物は定期的にメンテナンスが必要だと思っています。今は少し表面に塗った赤土が落ちている程度ですが、雨季にはたくさんの雨が降る地域ですので、メンテナンスについての話し合いも必要なのではないかと思っています。



最後に、子どもたちについてです。これはタイの文化的問題がありどこまで踏み込んで指導したらいいのか迷ってしまいます。まずは子供たちのおやつについてです。タイの子どももおやつが大好きなのですが、日本のようにおやつの時間があるわけではなく、基本的に好きなときに食べています。おやつの量は問題ないと思うのですが、いくら乳歯は生え変わると言っても、虫歯の問題が気になります。そして、子どもたちの勉強についてです。ジェイさんが来てから数字や九九、英語のポスターが貼られたこともあり、毎夜子どもたちは数字がどこまで言えるようになったか、この英語はどうやって発音するのか、など勉強を楽しんでいるようです。こうした基礎的学力をつける機会を寮父母さんの交代に左右されることなく、子どもたちに与えられたらと思います。

カサロンの家では施設は充実してきました。しかし、現在では家畜となる鶏やブタが寿命や病気によっていなくなってしまうため、使われていない期間も多いです。運営スタッフがカサロンの家を自立させるには、こうした施設の有効利用をしっかりと目標を持って行わなければいけません。

以上が8ヶ月間カサロンの家で子どもたちといっしょに過ごした体験であり、私がこれからのカサロンの家に託す希望です。最後になりましたが、本当に素晴らしい機会を与えてくださった皆様に感謝いたします。キャンヘルプタイランド会員の皆様及び現地スタッフの皆様の支えがなければ、成し遂げられなかったと思います。4月からは大学院に復学します。これを自分のキャリアの一つとして、これらも国際協力を学ぶ者として勉学に励みたいと思っています。私を通して、皆様の心強い支援がカサロンの家でどのように花開いているか、少しでもわかっていたいただけたら幸いです。ありがとうございました。

## 活動報告

### ～奨学金プログラム～

報告者：白柳 美穂

先月、ドナーの皆様へご支援いただきました奨学生の資料をお送り致しました。  
今年度もご支援いただきまして誠にありがとうございます。  
子どもたちとの親交を今以上深めるためにも、子どもたちへのお手紙をぜひお寄せ下さい。事務所で翻訳後、タイの子どもたちへ送ります。

#### <送付先住所>

〒450-0003

名古屋市中村区名駅南2-11-43 日商ビル2階NPOステーション  
キャンヘルプタイランド 翻訳係 宛

### 「翻訳会」

奨学金授与式終了後、毎月1回名古屋事務所で翻訳会を開催しました。

「タイ女性友の会」の大久保スリラットさんをお招きし、タイ人と日本人がペアになり、奨学生の書類を翻訳していきました。

昨年までタイに駐在していた方や、ワークキャンプ参加者など新しい顔ぶれも増え、タイの話を聞いたり、翻訳作業を進める中でタイ語も教えていただいたりと、実りある楽しい会となりました。タイやタイ語に興味のある方にとっては情報交換もできる場となっております。毎年いろんな方に参加していただいておりますが、人手不足の問題もありますので、ご友人や知人で翻訳ができる方がいましたら事務所までお知らせ下さい。



## 参加者募集

### ～チェンマイ カサロンの家訪問ツアー～

3月にチェンマイ県にある山岳民族の子どもたちのための寮「カサロンの家」を訪問するツアーを行います。

子どもたちの寮での生活を見たり、子どもたちと一緒に、子どもたちの家のある山奥の村で宿泊したり、観光旅行では味わえないいろいろな体験ができます。1週間の日程で、建設作業などのないキャンプとなっていますので、どなたでも気楽に参加していただけます。タイの山岳民族の現状を肌で感じてみたい方にはとてもよい機会となるのではないのでしょうか。

参加を希望される方はキャンヘルプタイランドの事務局まで資料請求してください。詳しい資料と申込書をお送りいたします。内容をご確認の上、申込書と誓約書をご記入いただき事務局までご返送をお願いします。

○日 程：3月20日（金）～3月29日（日）

○費用：43,000円（会費1年分を含む。飛行機代別）

※ 名古屋～バンコク往復 タイ航空利用で約7万～8万円

○参加資格：高校生以上の健康な方

○最少催行人数：5名

○応募締切：2月20日（金）

○応募方法：電話かメールにて資料請求後、申込書、誓約書をご記入の上事務局まで返送してください。

### 行 程

日時	内容	宿泊
3月20日（金）	朝セントレア集合バンコクからホアヒンへ	ホアヒン
3月21日（土）	子ども達とホアヒンのビーチで交流	ホアヒン
3月22日（日）	//	ホアヒン
3月23日（月）	チェンマイへ戻る	列車
3月24日（火）	子ども達と交流	カサロンの家
3月25日（水）	山の村での生活体験	山の村
3月26日（木）	カサロンの家へ戻る	カサロンの家
3月27日（金）	夜行列車でバンコクへ	列車
3月28日（土）	バンコク1日観光後夜の便で帰国	機内
3月29日（日）	朝 名古屋到着	

※ 予定は変更される場合があります

おまけ

～ワリットさん来日～

希望の家のワークキャンプのときにお手伝いに来て下さったワリットさんが先日、来日されました。ワリットさんの来日を聞きつけて、当時のワークキャンプ参加者も駆けつけ、久しぶりの再会にワリットさんもみんなとても嬉しそうでした。海外のワークキャンプで交流したタイの友人と日本で再会を果たせるのは嬉しいものです。日本人メンバーも海を越えた友情に感動していました。記念撮影をしたあとは、みんなで鍋を囲み楽しい交流会となりました。



(ワリットさんは写真中央上段)

運営委員会

(2008年8月～2008年10月)

活動	月日	場所	内容
運営委員会	11月16日	事務所	奨学金について
運営委員会	12月20日	事務所	20周年記念事業について
臨時運営委員会	12月27日	事務所	3月ワークキャンプについて
運営委員会	1月24日	事務所	奨学金授与式、8月ワークキャンプについて

運営委員募集

一緒にキャンヘルプタイランドの運営に参加してみませんか？

毎月第4土曜日に事務所に集まり、会の運営について話し合っています。見学でも結構ですので是非事務所へ遊びに来てください。

次回の運営委員会は 2月14日(土) 13:00～ (事務所にて) です。

編集後記

▼ 皆様、あけましておめでとうございます。新年になり石油価格の高騰もおさまり、うれしいことに航空機の燃油付加価値税も引き下げられました。円高のおかげでタイパーツも安くなり、タイへ行くための壁がどんどん低くなってきています。そうです、タイが呼んでいます。今がチャンスです！今までタイに行ったことがない人も、どんどんタイに行きましょう。政権の混乱はまだ多少ありますが、観光客への影響はもうあまりないと思われまます。3月のチェンマイツアーはおススメです。労働キャンプではないので体力に自信のない方でも参加いただけます。事務局までご連絡ください。。。

<キャンヘルプタイランドネットワーク通信 Vol.44>

発行 キャンヘルプタイランド  
 発行人 西川 弘達  
 編集人 坂 茂樹  
 発行日 2009年1月26日  
 住所 〒450-0003  
 名古屋市中村区名駅南2-11-43  
 NPOステーション内  
 Tel & fax 052-566-5131  
 (OPEN: 毎週火、木・土曜の13~17時)  
 E-mail: canhelp@npo-jp.net  
 ホームページ: http://www.canhelp.npo-jp.net